

ペアレントサポートワークショップを開催します！

ペアレントサポートワークショップとは、子どもの困った行動にお悩みの保護者の方々が、わが子の「できること」を見つけてほめるコツや分かりやすい指示の出し方などを、ほかの参加者やスタッフと情報交換しながら学ぶ保護者向けのプログラム（千葉県発達障害者支援センターCAS 監修）です。子どもも親もラクになる？！わが家にぴったりの子ども応援プランを一緒に見つけませんか？

ZOOM を利用して、オンライン開催の予定です。

開催予定日 9/14、9/28、10/12、10/26、11/9（全5回）
対象 発達に心配のある小学生の保護者

※その他の詳細は、びーんずまでお問い合わせください。



【今後の活動予定】

☆就学・進路相談会（義務教育編）7月上旬（進学編）9月上旬

両日ともオンライン開催 10時～11時半頃まで
お申し込みの詳細は別紙、またはHPをご確認ください。

今年度は、例年より時期を
早めて開催いたします！

☆ライブサポートファイルを作ろう会&茶話会（茶話会はオンラインでの参加可）

5月10日（月） 6月10日（木） 7月9日（金）

LSF 作ろう会 10時～ 先着5名様・要予約 参加費 100円

茶話会 11時～ 子育てミニミニ講座動画を視聴して、
感想など、みんなでおしゃべりしましょう。

お申込みは Email からどうぞ。



私たち NPO 法人子ども子育て・発達支援研究会は、障害や不登校、引きこもりなどで、地域生活に困難のある子ども・若者に対し、福祉、教育、療育の視点を持った支援を行うとともに、その健全な発達支援活動を地域住民や地域団体に普及させ、公益の増進に寄与することを目的として、活動しています！

発行者：NPO 法人子ども子育て・発達支援研究会 広報委員会

Add. …千葉県松戸市小金原 9-5-42 びーんず Labo

Email … kodomokosodate.matsudo@gmail.com

HP … <http://www.kodomokosodate-kenkyukai.org>



Jelly Beans News

発行日 2021年4月26日

第6号



ジェリー・ビーンズはアメリカ生まれのポップなお菓子。箱を開けると、カラフルなお豆たちが飛び出します。ひとつひとつ違うから、キラキラ光ってきれいなんです。



代表挨拶

今年は特に早く咲き出した桜が、すでに葉桜になって新年度が明けました。発達支援室びーんずでも何人かの子どもたちが無事に入學し、またみんな一つずつ学年を進めました。

NPO法人子ども子育て・発達支援研究会もおかげさまでコロナ禍の一年をどうにか乗り切り、新年度を迎えることができました。

昨年度は「コロナ」に振り回された一年でしたが、その分学びの多い一年だったとも言えます。まずは手探りで始めたリモート会議。月に1度のスタッフカンファレンスからはじめ、秋には会議用アプリ ZOOM を利用して「就学・進学相談会」を開き、今年の2月には「第8回まつど発達支援フェア」もオンライン開催としたところ、多くの参加がありました。その上、普段のフェアでは交通費などの経費を考えるととても叶わない、福岡県から講師を招くという企画がオンラインならでは実現しました。（実際は講師のお仕事のご都合もあり、事業所に来て頂くというラッキーな展開になりましたが・・・）

ZOOM に慣れたおかげで、発達支援室びーんずの相談事業に係る他事業者や利用者との会議や、松戸市で毎月開催されている「自立支援協議会子ども部会」でも活用することができています。

リモート、オンラインと言うと、人と人とのつながりが画面越しで希薄になるようなイメージですが、距離や環境の問題で実際に会うことができない時にはとても便利なツールであると感じました。そして、何より周りの環境に左右されずに注目すべき点（もちろん「画面」なのですが）が明確で、複数で会話をしているも通信の時間差があることで、同時に話すことができないことから「話す人」と「聞く人」が明確に分かれていて、自然と会話が構造化されていくことも解りました。

オンラインでは無いのですが、かつて長男が大学受験の際に予備校のビデオ授業を受けていたとき「聞いていて解らなかつたら巻き戻して何度でも聞けるところが良い」と言っていたのを思い出します。コミュニケーションが苦手な長男にとって生身の講師に質問したり何度も聞き返すのはハードルが高いようですが、自分のペースで聴き取れるところが良かったのでしょうか。オンラインであれば簡単に録画もできるし、相手の目を気にせず、リラックスした状態で聴く事もできます。

コロナのおかげで私たちは期せずして、またかなり無理矢理に「新しい生活様式」を取り入れていますが、これは「新しい物事の学び」「変化に対する適応力を身に付ける」チャンスなのかも知れません。

今年度も「コロナと共に（with コロナ）」のスタートですが、みなさまと共に多くの学びと子どもたちの笑顔を分かち合えるよう努めて参りたいとおもいます。

NPO 法人子ども子育て・発達支援研究会
代表理事 富永 文子



令和2年度 活動報告

【就学・進路相談会】

子どもの就学や進路に不安をかかえる保護者の方、及び支援者の方が、今後の具体的な選択肢を知ることができるように、各方面の助言者をお呼びしての相談会。コロナ禍の為、令和2年度はZOOMを利用して、初めてのオンライン開催となりました。

義務教育編 10月27日(火) 参加者23名

助言者：松戸市教育委員会教育研究所、つくし特別支援学校の先生方

教育研究所の先生からは、就学相談の流れや特別支援教育についての説明を、つくし特別支援学校の先生からは学校紹介と、教育相談・就学相談のお話をいただきました。

～参加者の感想～

ZOOM 初心者で参加は難しいかな？と思っていましたが、案内のお手紙がわかりやすく、簡単に参加することができました。私は息子の就学先をつくし特別支援学校で考えていて、去年見学に行っていたこともあり、去年の見学時と違う点や、コロナ禍で制限がある点などが聞いて良かったです。また、実際に通われているお子さんの保護者の方のお話が聞いてすごく参考になりました。このような機会をいただきありがとうございました！（Kさん）

進学編 11月20日(金) 参加者21名

助言者：長年松戸市立小・中学校通級学級を担任された先生、
県立特別支援学校流山高等学園、興学社高等学園の先生方

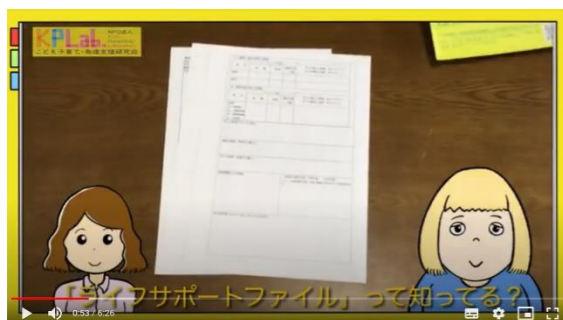
中学卒業後に様々な進路先や支援があること、そして親としての心構えについて、助言者の先生方から、じっくりとお話を聞くことができました。参加者の多くは、中学生未満の保護者の方でしたが、将来の漠然とした不安をかかえていても、先生方のお話を聞いたことで、安心できたり、今すべきことが見えてきたりしたのではないのでしょうか。

【ライフサポートファイルを作ろう会&茶話会】

6/10(水)、7/10(水)、8/11(火)、9/10(木)、10/9(金)、11/10(火)、12/10(木)、
1/12(火)、2/10(水)、3/10(水) 参加者延べ 56名

毎月10日に開催しているライフサポートファイルを作ろう会&茶話会は、4、5月は中止しましたが、6月より再開しました。換気、手指消毒などの感染対策を行い、びーんず Labo に来所する方は、予約制で5名までとしました。また、茶話会は、お茶もお菓子もませんが、ZOOMを利用して、ご自宅からも参加できるようにしました。このコロナ禍であっても、初めて参加してくださった方がいて、スタッフも嬉しかったです。

今後は茶話会の時間に、子育てミニミニ講座を視聴して、感想などをおしゃべりしようと考えています。自分の子育てを振り返りながら、一緒に楽しい時間を過ごしましょう。ご参加をお待ちしております。



「ライフサポートファイルのススメ」
動画を作成しました！！
YouTube、HPにUPしています。
是非、ご覧ください。

【第8回まつど発達支援フェア 2月14日(日)】

毎年行われている「まつど発達支援フェア」。令和2年度はZOOMを利用してのオンライン開催としました。

オープニングミニコンサートでは、いつも出演してくださる障害のあるアーティスト達が、全国の仲間と一緒に素敵なコンサートの動画を作成して下さり、それを鑑賞しました。

つづいてミニ講座では、自閉症教育・支援コンサルタントの水野敦之先生の「自閉症特性から見た」の紹介と、自閉症支援講座の動画を観ました。

メインセミナーでは、講師に司法書士・家族信託専門士の柳橋儀博先生をお迎えして「親なきあとの財産管理～家族信託や成年後見～」という演題でお話いただきました。

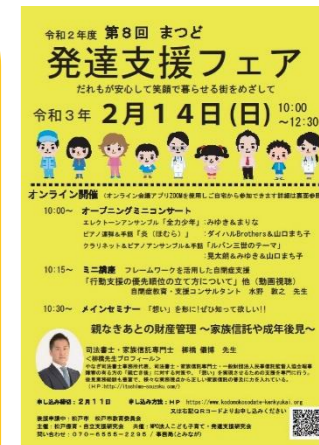
95デバイス130名からの参加申し込みがあり、当日は多くの方が楽しく、そして将来のことを考える良い時間を過ごせたと思います。

開催にあたりご協力いただいたみなさま、参加して下さったみなさま、ありがとうございました。

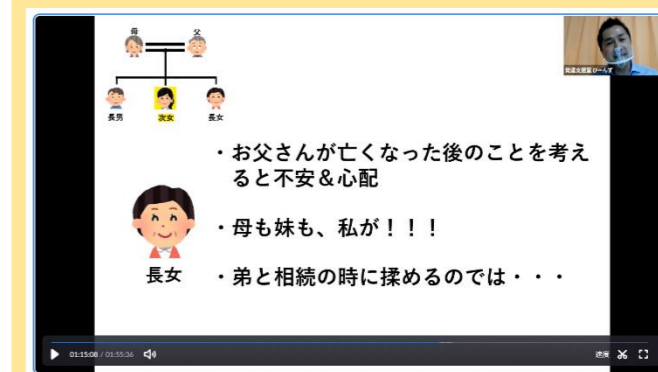
～参加者の感想～

〇ミニコンサート素晴らしかったです！！(Sさん)

〇今まで子ども達を守る事だけに集中して、周りを見る余裕がありませんでした。主催者の方から、この講座にお誘いいただいた時も、親なきあとを考えるのが怖く、正直気が重かったのですが、現状ある制度がどのようなものか知る機会になり、勉強になりました。柳橋先生の温厚なお人柄に救われました。開催していただき、感謝です。(Aさん)



♪ピアノ連弾&手話「炎一ほむらー」♪



柳橋先生のオンライン講演の様子

令和2年度の活動は、今まで行ってきたイベントを、どのようにしたらオンラインで開催できるかを常に模索した一年でした。スタッフも素人なので、ZOOMの参加者の方には、聞きづらかったり、画面が見苦しかったりしたことがあったかと思えます。この場を借りてお詫び致します。

それでも「コロナでなくても出掛けづらいから、自宅で気軽に参加できて良かった。」「移動時間がなくて子どものお迎えに間に合うから助かる」などの感想を多くいただきました。また、就学相談会や発達支援フェアに初めて参加して下さった支援者、関係者の方も多くいらっしゃいました。オンラインだからこその良さも、たくさん発見できた一年でもありました。

この一年の経験を生かして、来年度も引き続き、オンラインイベントを考えていきたいと思えます。